

機械器具(25) 医療用鏡  
一般医療機器 自然開口向け単回使用内視鏡用カニューレ 38814001

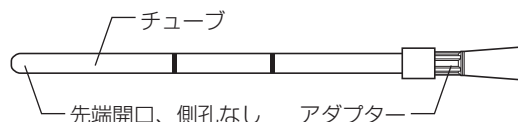
# 経鼻的内視鏡用前処置スティック

再使用禁止

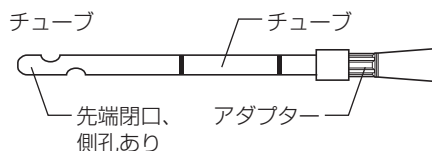
【禁忌・禁止】  
・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】  
＜構造図(代表図)＞

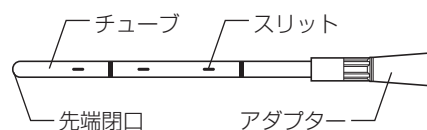
・開口タイプ



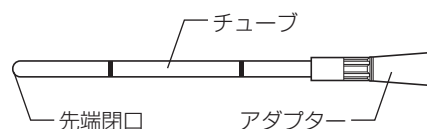
・側孔タイプ



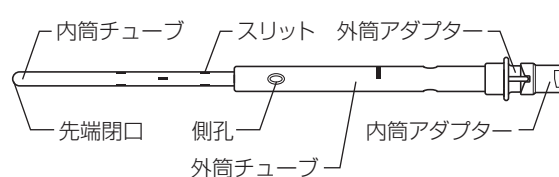
・スリットタイプ



・先端封じタイプ



\* ・スライドタイプ



・本品はポリ塩化ビニル(可塑剤: フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用している。

\* (材質)

|       |         |
|-------|---------|
| チューブ  | ポリ塩化ビニル |
| アダプター | ポリ塩化ビニル |

| サイズ         | カラー  |
|-------------|------|
| 10F (3.3mm) | ブラック |
| 12F (4.0mm) | ホワイト |
| 14F (4.7mm) | グリーン |
| 16F (5.3mm) | オレンジ |
| 18F (6.0mm) | レッド  |

【使用目的又は効果】

・本品は、経鼻的胃内視鏡検査の前処置として薬液を鼻腔内に送入するために用いる。

【使用方法等】

《通常タイプ》

・開口タイプ／側孔タイプ／スリットタイプ

1. 本品のチューブに粘滑・表面麻酔剤をガーゼ等で薄く塗り、その上から噴霧式表面麻酔剤をスプレーする。
2. 麻酔剤を充填したカテーテル先シリンジをアダプターに接続する。
3. 麻酔剤の鼻腔に本品を挿入する。(2本使用する場合は、細いチューブから使用し、その後太いチューブを使用する。)
4. カテーテルシリンジの押子を押して麻酔剤を漏出させ、鼻腔内に塗布する。
5. 本品を鼻腔から抜き取り、綿棒等で鼻腔に余分に付着した麻酔剤を拭き取る。

・先端封じタイプ

1. 本品のチューブに粘滑・表面麻酔剤をガーゼ等で薄く塗り、その上から噴霧式表面麻酔剤をスプレーする。
2. 麻酔剤の鼻腔に本品を挿入する。(2本使用する場合は、細いチューブから使用し、その後太いチューブを使用する。)
3. 本品を鼻腔から抜き取り、綿棒等で鼻腔に余分に付着した麻酔剤を拭き取る。

\*《スライドタイプ》

1. 内筒及び外筒に粘滑・表面麻酔剤をガーゼ等で薄く塗り、その上から噴霧式表面麻酔剤をスプレーする。
2. 麻酔剤の鼻腔に本品を挿入する。
3. 麻酔剤を追加注入する場合は、麻酔剤を充填したルアー先シリンジを内筒のアダプターに接続し、ルアー先シリンジの押子を押して、内筒チューブのスリットから麻酔剤を漏出させ、鼻腔内に塗布する。
4. 鼻腔内麻酔後、内筒に沿って外筒をスライドさせ、外筒を鼻腔内に挿入する。
5. 本品を鼻腔から抜き取り、綿棒等で鼻腔に余分に付着した麻酔剤を拭き取る。

・本品に、カテーテル先シリンジ及びルアー先シリンジは含まれない。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- ・使用前に、滅菌蒸留水等で通水を確認すること。
- ・鼻腔への挿入時に困難を認めた場合には、無理な挿入はやめること。[粘膜損傷のおそれがある。]

**【使用上の注意】**

**＜重要な基本的注意＞**

- ・チューブを強く引張ったり、潰したり、折り曲げたりしないこと。

**＜不具合・有害事象＞**

- 1) その他の不具合
  - ・チューブの破損（折れ、潰れ、破断）
- 2) その他の有害事象
  - ・粘膜損傷による出血

**【保管方法及び有効期間等】**

**＜保管方法＞**

- ・水ぬれに注意して保管すること。高温又は湿度の高い場所や、直射日光の当たる場所には保管しないこと。

**＜有効期間＞**

- ・内箱の使用期限欄を参照のこと。[自己認証(自社データ)による]

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者 株式会社トップ（添付文書の請求先）  
TEL 03-3882-3101

販売業者 富士フイルム メディカル株式会社  
〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30  
富士フイルム西麻布ビル  
TEL 03-6419-8045

